

埼玉県飯能市（はんのう）

自由の森学園 中学校・高等学校

JIYUNOMORI GAKUEN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

第96号 2018年12月31日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社ガガヤ 奥山卓矢

創立の理念

自由の森学園中学校・高等学校は1985年、明星学園小中学校の
校長であった遠藤豊らを中心に、点数序列主義に迎合しない新しい
教育をめざして設立されました。その理念の支柱となったのが、
数学者遠山啓の教育論です。

彼は、一人ひとりの違う個性をもつ子どもを伸ばしていく教育を
すすめるうえで、広く学校教育に浸透している競争原理は妨げに
なると考えました。

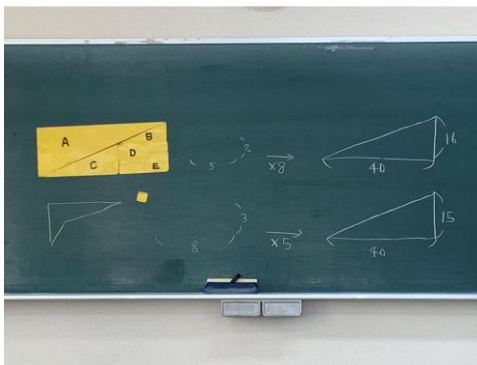
「競争心を刺激する教育法は、たしかに手っ取り早く人間をふるい立た
せる力を持っている。しかし、その反面、目標を他人におくために自分
自身を見失うという欠陥をもっている。」（『競争原理を超えて』遠山啓）

自分自身の意志や感性とは別のモノサシを押しつけられ、テストのため
の勉強が学びだと思わされる子どもたちは、学ぶ喜びから遠ざけられ、
学びと成長のエネルギーを発揮することができません。

これに対して自由の森学園は、競争原理をテコとせず、本来の学びを
授業をととして実現しようと考えた新しい学校なのです。

「かけがえのない個の人間として、それぞれ異質で多様な可能性を潜ま
せていながら、いまの画一的な教育の中で萎えてしまっている若者たち
の秀でた資質をひきだし、想像力を解放し、心の自由を育てる、そうし
た教育をつくりだすことを決意した」（設立趣意書）

と自由の森学園HPに書かれています。



数学の模擬授業



教室



染色室で糸巻きも生徒自らがを行い
作品作りを行っているそうです。



藍染を行うための鍋も！

新しい学びの構造『作品をつくりあげる』

ここまで提唱した理念を実現するために、自由の森学園は3つの教育活動の転換を行いました。その一つが授業とカリキュラムの改革です

意味連関の薄いたくさんの知識を覚えこませる授業から、幹となる本質的なテーマを深く学びとる授業への転換です。同時に、一方的な伝達授業を改め、教師との対話、生徒同士の対話を重視することで硬直した学習観を変える授業を構築しました。また、芸術と表現の教育を重視し、豊かな感性と高い表現を育てることをカリキュラムにおいて大事にしています。

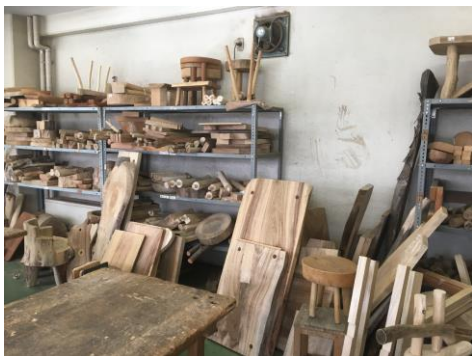
もう一つは、評価方法の転換です。自由の森学園の評価とは、点数で序列化せず、一人ひとりの生徒に対して、授業を担当する教師が文章で記述する方法をとります。

本来評価とは、その生徒の到達点を明らかにして、乗り越えていくべき課題を指し示すことだと考えます。日本の教育の長い歴史のなかで当然のこととされてきた順位や偏差値こそ「評価」という考え方は選別的な役割はあっても、生徒を育てるものではないのです。

すべての生徒にとって大切な「通知表」が、数字ではなく文章で記されること、これが生徒一人ひとりを一人の人間として育てるという自由の森学園の教育思想をあらわしているのです。

3点目は、「作品主義」という考え方です。生徒たちはテストで点数をとるために学ぶのではなく、授業での学びを土台にしてレポートや作品を作成することを目標にします。

与えられた問題を解くという受け身のテストから、自分自身の理解や問題意識を自分の文脈に沿ってまとめていく創造的・探究的な学習方法をとっています。これらの教育をとおして、自分自身の人生を切りひらいていく意志と力、他者とともに生きていく意志と力を培っていくのです。（自由の森学園HPから引用）



●過去のバックナンバー

第93号

第14回 見守る保育リーダー研修①

第94号

第14回 見守る保育リーダー研修②

第95号

第14回 見守る保育リーダー研修③

<http://www.caguya.co.jp/topics/ne>

見学を終えて思うこと

「テストがない学校」と最初聞いた時、心の中で「いいな～」と
 呟きました。

学生時代テスト前に必死で暗記した内容は、今は一体どこへやら…。

実際に見学をして感じるのは、もし中高生に戻れるのなら、こんな学校に通いたかったということです。

それは、テストがないからということではなく、

「見守る保育」を実践する園の先生方と同じことを先生方が言い、生徒たちのイキイキした姿からもそれを感じました。

保育園の先生方からよく、「子どもたちの姿が違う」と聞くことがありますが、自分の学生の頃と振り返ってみても明らかに違います。

今回校内を案内して下さった、中野校長から数学の模擬授業を受けました。数学の公式は貴族が時間を持て余し、その暇つぶしに公式を次々と見つけ出した話などの話をお聞きました。

試験はないけれど、自分で考えるための工夫があると仰り、考え方は「見守る保育」そのままのように感じました。

そして、校長は「私たちの学校以外にも多くの学校があり、様々な取り組みがあるので、ぜひ沢山見てみるといい」と言います。

教育に携わる者として、子どもたちの姿を見ることが出来たのは
様々な学びがあり、教育とは何かを考える機会となりました。



7161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2 号館 10 階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、

QRコードからお願いします。